

芦別消防団員を募集中

芦別消防団では、各地域で活躍する消防団員を募集しています。年齢満18歳以上で、本市に居住されている心身ともに健康なかたであれば性別を問わず入団できます(高等学校在学中のかたは入団できません)。

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。消火活動はもとより、地震、風水害、行方不明者の搜索等、さまざまな災害に出動し活躍しています。地域住民の安全・安心のために重要な役割を担っている消防団に興味・関心のあるかたは、芦別消防署までお問い合わせください。

●詳細 芦別消防署庶務係 ☎22-3106



★市長だより★

66

新型コロナウイルスに関する国の対処方針の改定により、今月13日からマスクの着用を一律のルールを設けず、屋内外ともに個人の判断に委ね、学校では着用を求めないことを基本に4月1日から適用と、2歳以上の子どもには、これまで保育園や幼稚園での着用を「一律には求めない」としてきたものを、13日以降は「着用を求めない」とされており、

また、コロナワクチンの次回接種は、今年の秋冬に、すべての年代を対象に実施する方向で、接種の無料化の継続を含め、国は今月上旬にも全体的な接種計画を示すとされており、注視しつつも、適時、市民の皆様への情報提供に努めてまいります。

今年末で芦別本店を閉鎖されることとなり、驚きとともに、開業以来75年の長きにわたり、地域の皆さんに愛され、親しまれてきただけに、誠に残念な思いです。

人口減少や他店との価格競争による売り上げの低迷などが主な要因と伺っておりますが、長年、商業施設として、多くの市民の皆様の暮らしを支え、地域経済の活性化に寄与いただけたことに、深く感謝の意を表させていただきますとともに、今後、市として従業員

の就業支援など関係機関とも連携をとりながら、対応してまいります。先月14日に、鈴木北海道知事が、地域で活躍しているかたがたと直接対話する「なのおみちカフェ」実施のため本市を訪問され、芦別温泉スターライトホテルで、館内の施設視察と懇談をさせていただき、私からは、歓迎の意と公設民営型の当ホテルにおいて二酸化炭素排出抑制と地産地消・循環型経済の構築に向け、木質バイオマスボイラー導入に全道的にも先駆けて取り組みを進めてきた経緯等について触れ、同ホテルの田中社長からはホテルの特色やワーケーションへの対応等について説明をいただき、知事からは、ゼロカーボンシティへの全道的な取り組み推進とともに、お風呂カフェ星遊館は



くつろげる魅力ある施設、コワーキングスペースも整備され、リラクゼーションながら仕事に集中できる環境は、ワーケーションの利用にも適しており、道としても「北海道型ワーケーション」を推進しており、機会を捉えPRに努めてまいりますとのコメントがありました。

また、地元企業(滝澤ベニア様)で開発・製造された色紙(再生紙)と道産材を重ね合板された世界初とされる「ペーパーウッド」の製品等について紹介させていただきました。

9日から定例市議会が開会され、令和5年度の市政執行方針や各会計の予算等について審議いただきますが、長引くコロナ禍にあつて、新規感染者数の減少が堅調とはいえず、市民皆様の命と健康を守ることを最優先に、地域の経済活動を支え循環させるウイズコロナ、アフターコロナを見据えながら、さまざまな課題に向き合い、「縮充と連携」の視点をもって、市や市民の皆様にとつて最適、最善となる方策を見定め市政運営にあたつてまいりますと考えております。

春の訪れが待ち遠しい季節となりましたが、季節の変わり目からも、市民皆様には体調管理等ご自愛のほどお祈りいたします。(2月20日記)

芦別市長 萩原 貢



星槎高校の宮川先生はじめ生徒2人が来庁され、昨年11月に行われた「第8回SAAB2022」のオンライン開催に対する全国の星槎高校からのお礼のメッセージ集をいただきました。